

地域自然情報研究会

日時：2月20日（土） 14:00～15:30

会場：環境情報学習センター（エコギャラリー新宿）

「トンボ目昆虫から見た京浜工業地帯の生物多様性と市民参画」

田口正男・田口方紀・井手佳季子（トンボはどこまで飛ぶかフォーラム）

要旨：

京浜臨海部は明治期以降、埋め立てにより形成された人工地帯で、各事業所内には一定の緑地、トンボ池が存在する。2003年から7年間、市民、企業、行政、学校、専門家の協働により、この地域10ヶ所に出現するトンボ目の標識再捕獲調査を行った。毎年、のべ百数十人の市民が参加し、7年間で合計17種3535頭が捕獲された。シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、オオシオカラトンボといった種が優占種で、種交代や希少種の増加、新設池での新たな群集形成など、生物ネットワークの存在と機能を検証する多くの事例を得た。こうした研究成果と市民参画が企業の環境努力を後押しし、CSRとしての生物多様性への貢献となっている。

参加費：500円（ただし、NPO法人地域自然情報ネットワーク会員は無料）

申し込み・問い合わせ先

地域自然情報ネットワーク事務局

FAX：03-3260-3795

mail：gcnken@gmail.com

申し込みの際は名前、所属、連絡先メールアドレスをお知らせください。

会場（エコギャラリー新宿）の詳細は以下です。

<http://www.shinjuku-ecocenter.jp/facilities/access.html>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内

TEL 03-3348-6277

なお、当会GCNにつきましては、以下HPをご覧ください。

<http://www.geo-eco.net/index.html>